

女子高生・車座フォーラム 2017

12月23日(土)、京都大学国際科学イノベーション



棟シンポジウムホールにて「女子高生・車座フォーラム 2017」を開催しました。このフォーラムは、男女共同参画推進センターが中心となり、女子高校生に京都

大学の研究者や科学者の仕事を知ってもらおうという企画で、今年で12回目の開催となります。北は秋田県、南は福岡県から高校生119名、保護者51名の参加がありました。



はじめに、今村 博臣男女共同参画推進センター広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ主査の司会進行で、稲葉 カヨ理事・副学

長より開会の挨拶がありました。京都大学では男女共同参画の取り組みの中で女性教員の採用を増やすため、2020年までを目標とするアクションプランに3つのテーマ、「女性リーダーの育成」「家庭生活との両立支援」「次世代育成支援」を挙げており、中でも「次世代育成支援」ではより多くの女性を京都大学で育てていきたいと述べました。また山極総長が掲げるWINDOW構想につ



いて「野性的で賢い学生を育て、背中をそっと押して彼らが活躍できる世界を開いた窓から送り出すということが、私たち京都大学教職員共通の夢であり、目標である。」との言葉を紹介しました。最後に「失敗を恐れずにチャレンジをしていただきたい、ぜひ京都大学に来て皆さんと一緒に学びたいと思います。今日一日みなさんにとって有意義な一日であることを祈っています。」と開会の挨拶を締めくくりました。



次に、川添 信介理事・副学長より京都大学の概要について説明がありました。「自分で自分の興味に基づいて学んで欲しい。京都大学では学生が自分でテーマを見つけ自分で勉強を続けていく、それを周りの教職員がサポートする、そういう基本的な考え方を持っている。」「難しいテーマにチャレンジする、そういう意味での自由な学風というのがモットーで、学問について自由な学風を守りたいと京都大学は強く思っている。」と述べました。最後に、「京都大学は女子学生の皆さんにとって魅力的な大学だと信じています。おもしろいというのは山極総長が頻繁に使われている関西弁ですけれども英語でinterestingというよりは、ちょっと変わったことでもやれますよというニュアンスをもっている感じです。ぜひ京都大学においでくださって有意義な人生のきっかけになればと思っています。」と締めくくりました。

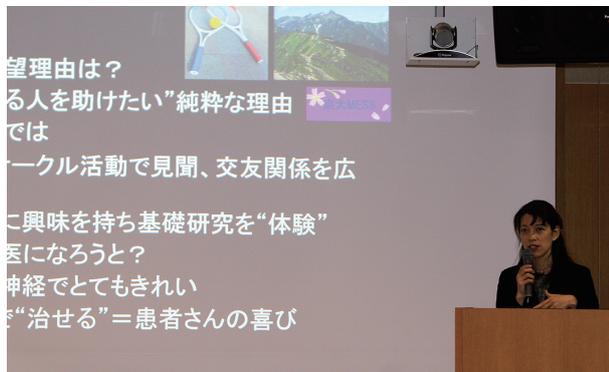


続いて、教育推進・学生支援部入試企画課より、平成30年度学生募集要項についての説明があり、アドミッ

ションポリシーや入試についての説明がありました。

その後、医学部附属病院の池田華子准教授が「失明を防ぐ～眼の病気に対する神経保護治療研究～」の題で講演を行いました。池田先生は、「困っている人を助けたい。」

「姉が医学部に行っていてその勉強の内容を聞くと、とっても楽しそうだったので医者になりたい。」と医学部を志望した理由を語られました。京都大学入学後は、クラブ活動や全学のサークルで様々な学部の方々と交流される中で、クラブの先輩の基礎研究の研究室での体験を聞いたことがきっかけで基礎研究に興味を持ったこと、2回生の時に、現在もつながりのある先生の研究室に見学に行き、「研究をやってみたい」とお願いしたところ、快く「じゃあやってみたら」と受け入れていただいたというエピソードを語られました。学生の中に基礎研究を体験できたことは、京都大学ならではの経験であり、今の研究にもつながっていると話されました。卒



業するとき臨床医になっていくか、あるいは基礎研究を続けていくかの選択をする際、初心に帰り「目の前の困っている患者さんを助けたい」との思いから臨床医を選びました。眼は非常に美しく、中枢神経の中で唯一目で見える組織であり、自分の手で手術をして治せる病気があり、白内障で見えなかった患者さんが手術の翌日に見えてすごく喜んでいただける、患者さんの喜びを共感できることから眼科医になられた思いを熱く語られました。最後に高校生たちにメッセージとして「何か興味のある面白いと思えることを探していただきたいなと思います。今の興味とまた大学に入っているいろいろなことを勉強していく中で考える興味と違って全然かまわないと思います。いくらでも修正は可能です。」「二番目に人の

出会いを大事にして欲しいと思います。ひとりでは何もできません。一人で学問ができるのでしょうか?できません。人の出会いは本当に大切にしていきたいなと思います。」「やりたいと思ったことはどんどんチャレンジをしてください。そのためには京都大学は恵まれた環境だと思います。やらないと何も始まりません、失敗は成功のもとです。あきらめないでやってください。」と語られ、「何かを継続すると、人に認めもらえるようなことではないかもしれませんが、自分の中で必ず成果が生まれると思います。京都大学で皆さんと何らかの機会でご一緒できる日がくればいいなと楽しみにしています。」と締めくくりました。



その後、昼休憩に入り、昼休憩後はグループワークの説明と講師の紹介がありました。高校生は希望学部別のグループに分かれ各部屋に移動し、グループワークを行いました。高校生には事前に聞きたいことを質問用紙に記入してもらっており、それをもとに学生スタッフが主に受験勉強や学生生活などについて実体験を、講師が研究生活や専門などについて語りました。

高校生がグループワークに参加している間、保護者は京大生との交流会に参加しました。稲葉理事の挨拶の後、保護者から京大生へ学校生活や学部などについて疑問に思うことを質問してもらい、学生が回答しました。

グループワーク終了後は再び全員で集まり、まとめの会を行いました。グループワークの最後に、グループワークで聞くことができなかった質問や学部を超えた質問などを質問用紙に記入してもらっており、佐藤 亨男女共同参画推進本部支援室長の司会進行で、それぞれの質問に各分野の講師が回答しました。

「小説を研究することについて文学部と総合人間学部での違いはなんですか。」「発達



教育学に興味がある、他の分野と結びつけて考えるとするとどこが一番つながりがあるか。」「教育学部と医学部で子どもの心理学の実践的な学習ができるのはどこでしょうか。」「医学部で工学部と共同して医療機器や研究のための機械開発などと聞いたけど、他学部との協力について知りたい。」「理学部にいる間に哺乳類の行動についての研究はできますか。」などたくさんの質問が

あり、学部ごとの特徴や学べることの違いを話しました。佐藤室長は、「大学は教育と研究の二つの看板があり、教育は組織で行い、研究者は個人商店であり、教授が千人いれば千軒の店が集まって京都大学というデパートができているというイメージです。」と話しました。

その後、入試に関する質疑応答が行われ、車座フォーラムは盛況のうちに終了しました。

グループワークの様子



文学部



教育学部



法学部



経済学部



理学部



医学部



薬学部



工学部



農学部



総合人間学部（文系）



総合人間学部（理系）



保護者（京大生との交流）

車座フォーラム参加者の声（アンケートより）

- ・大学でしている研究や研究者としての仕事とか、とても分かりやすく説明して下さい、イメージが湧いた。学部の特徴なども分かって、これからの進路選択に役立たせたいと思う。研究者になることについてくわしく考えたことはなかったけど、それも選択肢のひとつだなと感じた。
- ・研究者になるという道や、他の仕事にもつく道など様々なことを視野に入れてたくさん悩みたいと思います。他人の考えや流行などに流されず、自分という個人で何をしたいか、やってみたいことをしっかり考えて勉強していきたいです。
- ・研究の事や留学、大学生活などを聞かせていただき、自分の大学へ入った後やその先の就職将来のことなどを深く考えるにあたって、抽象的だったものが具体的に考えるきっかけになったと思います。
- ・学部で学ぶ学問が、将来的に自分にどのように役に立つか、実生活でどのように生かされるのかを講師の方から伺えて、魅力を感じました。とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。
- ・研究とは難しく、簡単にはできないと思っていましたが、興味を持ったことに徹底的に向き合い、まずはやることで成果がでるものなのだと分かり、とても関心がわきました。また大学では、人の役に立つ研究を行っていることが分かり、将来へと繋がる研究でもあることを知ることができました。グループワークでは、教授さん学生さんがどんな質問にも丁寧に答えて下さってたくさんを知ることができ、ますます京都大学が魅力的に感じられました。

講師・グループ・会場

グループ	氏名	所属	研究分野	会場
文学部	平川 佳世	文学研究科	西洋美術史（特殊素材に描かれた絵画、西洋美術における子供の表象など）	国際科学イノベーション棟 ミーティングルーム
教育学部	稲垣 恭子	教育学研究科	教育社会学：女性の教養、教育関係の社会学など	総合研究 8 号館 会議室 2
法学部	西谷 祐子	法学研究科	国際的な家族関係と移民、国際取引	国際科学イノベーション棟 会議室 5b
経済学部	王 英燕	経済学研究科	組織行動論・国際人的資源管理	総合研究 8 号館 演習室 1
理学部	常見 俊直	理学研究科	理学と社会交流、科学コミュニケーション、社会連携	総合研究 8 号館 数理会議室
	関口 春子	防災研究所	大地震の揺れの生成メカニズム	
医学部	池田 華子	医学部附属病院	神経保護剤による眼難治疾患の新たな治療法開発	総合研究 8 号館 講義室 3
	田村 恵子	医学研究科人間健康科学系専攻	がん患者・家族の緩和ケア	
	池添 冬芽	医学研究科人間健康科学系専攻	高齢者の介護予防、高齢者に効果的な運動トレーニング法の開発	
	義村 さや香	医学研究科人間健康科学系専攻	自閉スペクトラム症の認知研究／司法精神医学	
薬学部	伊藤 美千穂	薬学研究科	フィールドワークを軸とした薬用植物研究、おのいの生薬薬理、生薬のレギュラトリーサイエンス	国際科学イノベーション棟 会議室 5b
工学部	佐藤 亨	情報学研究科	電波工学、レーダー、イメージング	総合研究 8 号館 講義室 4
	伊庭 千恵美	工学研究科	住宅や建築の温熱環境と省エネルギー、建築材料の耐久性	
農学部	小杉 緑子	農学研究科	植生と大気間のガス交換過程	総合研究 8 号館 会議室 1
	今村 博臣	生命科学研究科	生物物理、生化学、化学生物学、細胞生物学	
総人・文系	廣野 由美子	人間・環境学研究科	英文学、19 世紀イギリス小説	総合研究 8 号館 演習室 2
総人・理系	清水 扇丈	人間・環境学研究科	数学（解析学・流体方程式の研究）	総合研究 8 号館 演習室 3

学生スタッフ

グループ	氏名	所属
文学部	渡 智一郎	文学部
教育学部	冨田 一葉	教育学部
法学部・経済学部	桑原 静羽	法学部
	河合 美代	経済学部
理学部	磯田 珠奈子	理学研究科
	栗原 悠宇希	理学部
医学部	向平 妃沙	医学研究科
	勝島 倫子	医学研究科
	三木 麻紗与	医学部
薬学部	田中 良尚	薬学部
工学部	石田 彰紀	工学部
	高木 理絵子	工学部
農学部	八十川 環	農学部
	松岡 珠美	農学部
総合人間学部（文系）	近藤 香澄	人間・環境学研究科
総合人間学部（理系）	今城 葉月	人間・環境学研究科

プログラム

- 10：00-10：30 受付：京都大学国際科学イノベーション棟
シンポジウムホール
- 10：30-10：35 開会の挨拶（理事・副学長 稲葉カヨ）
- 10：35-10：55 京都大学の紹介（理事・副学長 川添信介）
- 10：55-11：10 入試に関する説明
（教育推進・学生支援部 入試企画課）
- 11：10-11：30 女性研究者の講演
「失明を防ぐ～眼の病気に対する神経保護治療研究～」
（医学部附属病院 池田華子）
- 11：30-13：00 昼食・休憩
- 13：00-13：40 講師紹介・グループワークの説明
（広報・相談・社会連携事業 WG 主査 今村博臣）
- 13：40-15：00 グループワーク「車座になって話そう」
高校生：講師・京大生とのグループワーク
保護者：京大生との交流
- 15：00-15：10 休憩
- 15：10-15：50 まとめの全体会
（男女共同参画推進本部支援室長 佐藤 亨）
- 15：50-16：00 休憩
- 16：00-17：00 入試に関する質疑応答
（教育推進・学生支援部 入試企画課）

Gender Equality Promotion Center

〒606-8303 京都市左京区吉田橋町
 電話 075 (753) 2437
 FAX 075 (753) 2436
 E-mail w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
 HP <http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>